

## 地方自治体が実施する従来の放課後児童指導員等を対象とした 研修の実施状況について

### 1. 調査内容

- (1) 調査対象 都道府県・指定都市・中核市（108自治体）  
 (2) 調査年度 平成23年度  
 (3) 調査内容  
 ①実施形態（直営・委託・補助）、②科目別時間数、③対象者、④開催回数、⑤募集人数・参加人数、⑥国庫補助の有無

### 2. 調査結果概要

- (1) 実施形態について  
 直営 63自治体（58%）  
 委託 50自治体（46%）  
 補助 6自治体（6%）  
 ※ 1中核市が未実施のため、合計実施自治体数は107となる。  
 ※ 1つの自治体が複数の実施形態をとっている場合があるため、合計が100%以上となる。

- (2) 科目別時間数について  
 別紙のとおり

- (3) 対象者について

	実施自治体	実施割合	備考
放課後児童指導員			
初任者	53自治体	49%	
中堅者	104自治体	96%	
主任クラス	96自治体	89%	
障害担当	91自治体	84%	
採用予定者	54自治体	50%	
施設長	61自治体	56%	
事務担当者	62自治体	57%	
ボランティア	39自治体	36%	
その他	48自治体	44%	放課後子ども教室関係者・児童館職員等

- (4) 開催回数について

- 1自治体当たり 年平均 12回

- (5) 募集人数・参加人数について

- ① 平均募集人数 173人（※募集人数の報告があった研修の平均人数）  
 ② 平均出席人数 136人  
 ③ 平均出席率 86%（※（募集人数の報告があった研修の）出席人数／募集人数の平均）

- (6) 国庫補助の有無について

- 国庫補助有 84自治体（78%）

(別紙)

## 研修内容・科目別時間数について

研修形態	研修内容・科目	平均時間 (分) ※1	実施時間別割合 ※2		実施自治体数	実施自治体別割合	
講義	基礎(児童福祉概論、放課後児童クラブの制度概要など)	120	8.8%	②	57	53.3%	②
	遊びの支援、仲間づくり	118	5.4%	⑤	38	35.5%	⑤
	子どもの生活面の援助(おやつ・宿題等)	96	1.8%		19	17.8%	
	子どもの発達の理解(児童発達理論)	114	7.4%	③	53	49.5%	③
	発達障害児など配慮を必要とする子どもへの支援	151	16.4%	①	86	80.4%	①
	いじめや虐待への対応	87	1.7%		24	22.4%	
	事故や怪我の防止と対応	96	5.8%	④	49	45.8%	④
	健康・衛生管理	84	2.4%		29	27.1%	
	防災・防犯対策	88	3.3%		36	33.6%	
	来所・帰宅時の安全の確保	59	0.7%		16	15.0%	
	子どもの人権と指導員の倫理	136	3.8%		26	24.3%	
	家庭における養育状況の理解	89	0.8%		11	10.3%	
	保護者への支援と連携	71	2.6%		34	31.8%	
	職場運営におけるチームワーク	92	3.6%		23	21.5%	
	学校・地域・関係機関との連携	91	3.1%		26	24.3%	
	個人情報の取扱とプライバシーの保護	90	0.5%		6	5.6%	
	苦情・要望への対応	81	0.9%		14	13.1%	
	演習	個別援助活動(ケースワーク)	111	1.5%		14	13.1%
集団援助活動(グループワーク)		191	9.6%		46	43.0%	
地域福祉活動(コミュニティーワーク)		196	1.6%		10	9.3%	
実技	ゲーム・遊び	119	7.1%		56	52.3%	
	表現活動(ダンス、創作活動、劇など)	109	1.9%		12	11.2%	
実習	実習	875	9.2%		13	12.1%	

(※1)平均時間(全自治体の合計時間数/全自治体の研修開催回数の合計)は、研修1回あたりの平均所要時間。

(※2)実施時間別割合(科目合計時間数/研修全体時間)は、研修時間全体に占める科目毎の実施割合。

## 平成26年度 放課後児童クラブ指導員等ブロック研修会開催要領

## 1 趣旨

放課後の児童への支援策として、文部科学省と厚生労働省が連携して「放課後子どもプラン」事業を実施しています。毎日の児童との関わりを通して、放課後児童クラブが家庭や地域での子育てを支援するために果たす役割は、一層大きなものになっています。本研修会は、放課後児童クラブ・放課後子ども教室の事業活動に必要な技術研修及び地域のネットワークづくりの機会を提供し、放課後児童の健全育成の推進を目指すことを目的に開催します。

2 主催 宮城県子ども総合センター

3 共催 宮城県教育委員会、宮城県児童館連絡協議会、(財)児童健全育成推進財団、大崎市、東松島市

## 4 対象及び定員

(1) 対象 放課後児童クラブ指導員、放課後子ども教室で指導に携わっている方

(2) 定員 各会場とも80名程度

※参加希望者が多数の場合はお断りすることがありますので、御了承ください。

## 5 開催日、会場及び日程

## (1) 開催日、会場、講師

○講師：運動遊び研究サークル きんにく〜ず GM 渡邊 由貴 (わたなべ ゆき) 氏

内容：「子どもといっしょに楽しもう きんにく〜ずの『ゲーム遊び』」

ブロック	開催日	会場
県北	平成26年5月13日(火)	大崎市古川総合体育館 大崎市古川旭四丁目5-2 電話 0229-24-0511
仙塩	平成26年6月18日(水)	東松島市民体育館 東松島市小松字上浮足164 電話 0225-82-9030

○講師：リハビリテーション体育士 伊藤 秀一 (いとう しゅういち) 氏

内容：「障害のある子もない子と一緒に遊ぼう」

ブロック	開催日	会場
中央	平成26年5月20日(火)	仙台市生涯学習支援センター(旧：仙台市中央市民センター)体育館 仙台市宮城野区榴ヶ岡4丁目1-8 電話 022-295-0403
県南	平成26年6月27日(金)	まなウェルみやぎ 体育館 名取市美田園二丁目1-4 電話 022-784-3580

## (2) 日程

- 9:40～ 受付
- 10:00～ 開会行事
- 10:05～ 研修会 実技研修「ゲーム、運動遊びに関する内容」
- 11:50～ 情報交換
- 12:20～ 閉会行事
- 12:30 閉会

## 6 講師

〈県北・仙塩会場〉運動遊び研究サークル きんにく〜ず GM 渡邊 由貴（わたわたなべ ゆき）氏  
児童厚生一級特別指導員。運動遊び研究サークル「きんにく〜ず」GM, 朗読劇サークル「おむすびころりんの会」代表。「室内での運動遊びの実践」をテーマに、ゲームや運動遊びを通して、子どもの心身の発達を促す実践例を紹介していただきます。

〈中央・県南会場〉リハビリテーション体育士 伊藤 秀一（いとう しゅういち）氏

肢体不自由や知的障害及び精神障害のある方や高齢者などを対象に、体育・スポーツの特性を用いた身体的・精神的・社会的なリハビリテーションの分野で活躍中。「障害のある子もいない子も一緒に遊ぼう」をテーマに、子どもの特性に応じた運動や遊びの実践例を紹介していただきます。

## 7 準備物

動きやすい服装, 上靴 (運動靴)

## 8 申し込み

- (1) 申込方法 研修会への参加を希望される放課後児童クラブ指導員の方は、市町村担当課（仙台市は各指定管理団体）に申込みを行ってください。また、放課後子ども教室で指導に携わっている方は、宮城県教育庁生涯学習課に申込みを行ってください。

市町村担当課（仙台市は管理運営団体）、宮城県教育庁生涯学習課でそれぞれ参加希望をとりまとめ、別紙受講申込書（様式）に必要事項を記入の上、下記申し込み先あて電子メールで送信してください。

担 当	子ども総合センター	企画育成班	菅原 栄治
	名取市美田園二丁目1-4 (まなウエルみやぎ)		
電 話	022-784-3580		
FAX	022-784-3596		
Eメール	<a href="mailto:sugawara-ei768@pref.miyagi.jp">sugawara-ei768@pref.miyagi.jp</a>		

- (2) 申込期限 平成26年5月7日（水）

- (3) 留意事項 参加希望者が定員を超えた場合には、市町村担当課（仙台市は管理運営団体）、宮城県教育庁生涯学習課に人数調整をしていただきます。

なお、放課後子ども教室で指導に携わっている方は、宮城県教育庁生涯学習課を通して申し込むこととなりますので、市町村の申込人数の中には入れないでください。

## 9 駐車場について

(1) 古川総合体育館、東松島市民体育館には、施設敷地内に駐車場があります。

(2) 仙台市生涯学習支援センター（旧：仙台市中央市民センター）には駐車場がありませんので、公共交通機関を御利用ください。

(3) まなウエルみやぎには、研修会参加者用の駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。仙台空港アクセス線美田園駅で下車し、徒歩5分ほどで「まなウエルみやぎ」に着きます。会場へは、東エントランス（総合教育センター側）入口から入り、体育館に入場してください。

## 10 その他

- (1) この研修会は、(財) 児童健全育成推進財団認定児童厚生二級指導員資格履修科目の「ゲーム・運動遊び」に該当しますので、児童厚生員研修会科目履修表をお持ちの方は当日御持参ください。

平成26年度 児童館・放課後児童クラブ新任職員研修会開催要領

- 1 趣 旨 児童館・放課後児童クラブの新任職員を対象に、児童の健全育成の推進に必要な基礎的な知識と技能を習得する機会を提供し、児童館（児童センター）・放課後児童クラブの職員としての資質の向上を図る。
- 2 主 催 宮城県子ども総合センター
- 3 共 催 一般財団法人 児童健全育成推進財団，宮城県児童館連絡協議会
- 4 期 日 【1日目】 平成26年6月 2日（月） 午前9時55分から午後3時25分まで  
【2日目】 平成25年6月11日（水） 午前9時55分から午後3時25分まで
- 5 場 所 まなウェルみやぎ 3階 第1研修室（名取市美田園二丁目1-4）
- 6 定 員 両日ともに100名
- 7 内 容 【6月 2日（月）】

時間	内容
9:10～9:55	受付
9:55～10:00	諸連絡
10:00～10:05	開会行事
10:05～10:15	アイスブレイク
10:15～12:15	講義Ⅰ「健全育成論」 財団法人 児童健全育成推進財団 広報部・業務部 課長 阿 南 健太郎 氏
12:15～13:15	昼食休憩
13:15～15:15	講義Ⅱ「人を育てる人を、育てるコーチング」 コーチング研修会社ドリームフィールド ビジネスコーチ 鈴木 満 氏
15:15～15:25	閉会行事

※履修表は、閉会行事終了後に返却します。

【6月11日（水）】

時間	内容
9:10～9:55	受付
9:55～10:00	諸連絡
10:00～10:05	開会行事
10:05～10:15	アイスブレイク
10:15～12:15	講義Ⅲ「児童館論」 岩手県立児童館いわて子どもの森 チーフプレーリーダー 長 崎 由 紀 氏
12:15～13:15	昼食休憩
13:15～15:15	講義Ⅳ「放課後児童クラブ論」 八王子市立中野児童館 館長 井 垣 利 朗 氏
15:15～15:25	閉会行事

※履修表は、閉会行事終了後に返却します。

- 8 対象 次のア、イのいずれかに該当する方
- ア) 平成26年4月1日以降に児童館(児童センター)・放課後児童クラブに職員として配属された方
  - イ) 平成26年3月31日以前から児童館(児童センター)・放課後児童クラブに職員として配属されている方で、児童厚生二級指導員資格取得に必要な研修科目「健全育成論」「児童館論」「放課後児童クラブ論」のうち受講していない科目がある方

- 9 申込み (1) 申込方法
- 研修会への参加を希望される方は、各市町村担当課(仙台市は各管理運営団体)からの通知に従い、各市町村担当課(仙台市は各管理運営団体)に参加申込みを行ってください。
- 各市町村担当課(仙台市は各管理運営団体)で参加希望者を取りまとめ、別紙参加申込書(様式)に必要事項を記入の上、下記申込先あて電子メールで送信してください。

担当： 宮城県子ども総合センター 企画育成班 武田英子 名取市美田園二丁目1-4 (まなウェルみやぎ) 電話：022-784-3580 FAX：022-784-3596 電子メール：takeda-ei671@pref.miyagi.jp
--

- (2) 申込期限 平成26年5月16日(金)
- (3) 留意事項  
参加希望者が定員を超えた場合には、市町村担当課(仙台市は各管理運営団体)に、人数の調整をお願いすることがあります。その場合には、5月21日(水)までに担当者あてに連絡しますので、よろしくお願ひします。(参加希望者全員が参加可能な場合には、連絡を行いません。)

- 10 その他
- (1) 参加される方は、別紙(様式1)の参加者レポートを作成し、当日1部持参して受付で提出して下さい。(2日目のみ参加の方は、6月2日必着で郵送して下さい。)
  - (2) この研修会の講義I、講義III、講義IVは、一般財団法人児童健全育成推進財団認定児童厚生員資格取得に必要な履修科目に該当します。ただし、児童館(児童センター)・放課後児童クラブに従事する現任者のみが受講の対象となります。児童厚生員研修会科目履修表をお持ちの方は、当日御持参ください。  
講義I：健全育成論 講義III：児童館論 講義IV：放課後児童クラブ論
  - (3) 研修会参加者用の駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。仙台空港アクセス線美田園駅で下車し、徒歩5分ほどで「まなウェルみやぎ」に着きます。会場へは、東エントランス(総合教育センター側)入口から入り、階段で3階に上がってください。「まなウェルみやぎ」の場所等はホームページで御確認ください。(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kodomo\_s/)
  - (4) 周辺の商業施設等には無断で駐車しないでください。
  - (5) 会場近隣に飲食店等が十分にはありませんので、昼食を御持参ください。(当センターで弁当の斡旋等はいりません。)

【様式1】 参加者レポート（レポートを作成して1部を当日持参し、受付で提出して下さい。）

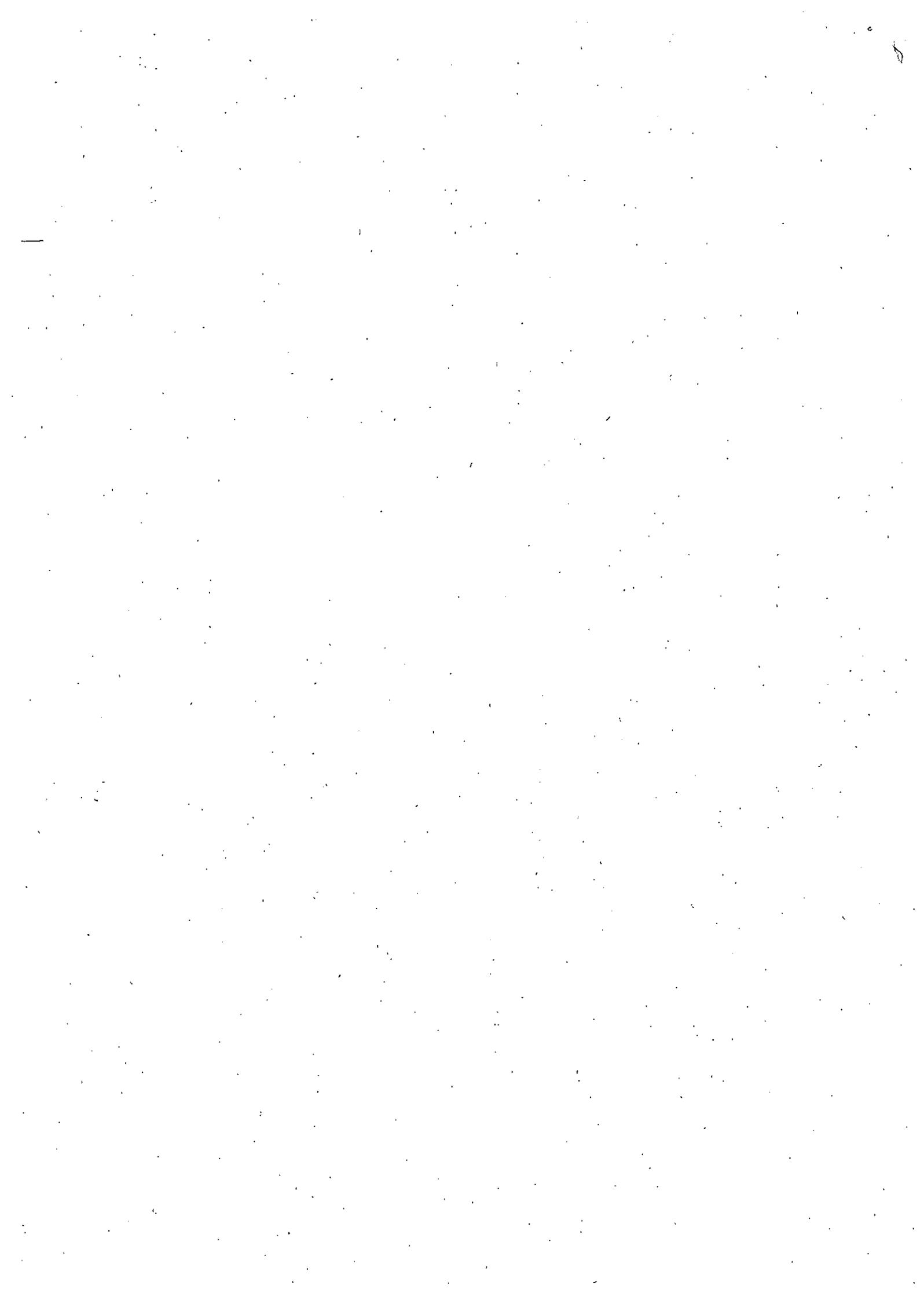
所属	氏名
----	----

【今児童館で流行している遊び、私の一押し遊び・活動などのレシピ】	
室内・屋外	タイトル：

※簡単な遊びのレシピを紹介してください。（『レシピ集』として印刷して受講者に配布しますので、黒色で、濃くはっきりとお書きください。）







(別添)

平成25年度埼玉県放課後児童指導員研修会  
(第41回学童保育指導員学校)開催要項

1 趣 旨

放課後児童健全育成事業(学童保育)を実施する上で、子どもたちの健全育成を図る「放課後児童指導員(学童保育指導員)」の果たす役割は大変重要である。

放課後児童クラブは、昼間保護者のいない家庭の子どもたちの放課後の生活の場であり、子どもたちの生活の重要な一部を担っている。子どもたちの健康や安全の管理などに十分気を配り、また、成長段階に見合った適切な働きかけを行うためにも放課後児童指導員の資質の向上は不可欠なものである。

そこで、放課後児童健全育成事業の内容が更に充実したものとなるよう、放課後児童指導員に対する研修を実施する。

2 実施方法 受講者全員による全体会及び分科会における講義、実習などにより実施

3 主 催 埼玉県・埼玉県学童保育連絡協議会

4 期 日 平成25年10月20日(日) 10:15~16:00

5 会 場 埼玉県立大学  
越谷市三野宮820

6 日 程

9:30	10:15	10:30	12:00	13:00	16:00
受付	開会式	全体会(講義)	昼食	分科会(18分科会)	

7 参加者 放課後児童指導員(全体で900名程度)

8 研修内容

● 全体会

【講師】茂木俊彦氏(桜美林大学教授)

【テーマ】「子どもをより深く理解するために」

《プロフィール》 もぎ・としひこ

1942年群馬県生まれ。東京大学教育学部教育心理学科、同大学院で学ぶ。広島大学、立正大学、東京都立大学に勤める。元都立大学総長。現在、桜美林大学教授。

全国障害者問題研究会顧問、民主教育研究所代表運営委員。

専門は発達心理学・障害児教育学

著書に『障害児と教育』(岩波新書)、『障害児教育を考える』(同)、『受容と指導の保育論』(ひとなる書房)、『発達保障を学ぶ』(全障研出版部)、「親と先生の共同ですすめる障害児の子育て」、『子どもに学んで伝え合う』(同)『障害は個性かー新しい障害観と「特別支援教育」をめぐる』(大月書店)、『入門ガイド・障害児と学童保育』(同)、『入門ガイド・発達障害児と学童保育』(同)など多数。

● 分科会

第1分科会

※ 県連協カリキュラム【1年次1-(1)(2)課】

【テーマ】放課後児童クラブ(学童保育)と指導員の仕事・役割

【講師】合田瑞穂(さいたま市放課後児童クラブNPO片柳ひかり)

【内容】放課後児童クラブは共働き、一人親家庭の親の労働を保障し、その子どもたちの生活を守る場です。指導員は、日々子どもたちの生活をつくることを通して、親が安心して働くことを保障しています。その子どもたちを理解するところから仕事が始まります。放課後児童クラブの役割、指導員の仕事・役割について学びます。

第2分科会

※ 県連協カリキュラム【1年次1-(1)(2)課】

【テーマ】放課後児童クラブの毎日、年間の生活をどうつくるか、指導員に必要な実務

【講師】荒川 誠(所沢市和田学童クラブ指導員)

【内容】新しい指導員は子どもと一日、どう過ごせばよいか悩まれると思います。宿題、おやつ、あそび等の流れをどう作るか、掃除・片づけや行事などの取り組みをどうするか?一日の流れ、年間の流れをどうつくるかを具体的に学びます。また、指導員の仕事は、保育以外に、打ち合わせ等の事前準備、保育記録などの事後のこと、保護者や学校、行政との連絡などもあります。それらの実務についても学びます。

第3分科会

※ 県連協カリキュラム【1年次2-(1)(2)課】

【テーマ】学童期の子どもの発達についての理解とはたらきかけ

【講師】大津 悦夫(立正大学心理学部教授)

【内容】指導員の仕事を進めるうえで、学齢期の子どもの発達の特徴を理解することは大事なことです。今日、様々な要因から子どもたちが育ちそびれている実態がある中で、子どもをよりていねいに深くとらえることが求められています。その上で、子どもたちの成長をどう促していくかを学びます。

第4分科会

※ 県連協カリキュラム【1年次2-(1)(2)課】

【テーマ】今日の子どもの心と身体

【講師】沖野 信子(埼玉県保健体育課非常勤講師)

【内容】「朝からあくび」「背中ぐにゃ」「体温が低い」「アレルギー」等の身体の問題。「ささいなことでキレル」「言葉が通じない」等の心の問題。日本の子どもたちは元気に育っているとは言えません。子どもの心と身体がどうなっているのか?その背景・原因は何か?改善のための学童クラブも含めた大人の課題は何かを学びます。

第5分科会

※ 県連協カリキュラム【1年次3-(1)課】

【テーマ】子どもの生活を保護者と伝え合う

【講師】佐久間佳奈(さいたま市東大成・植竹小もりのこクラブ)

【内容】保護者は、わが子が学童保育に楽しく通い、育っている実感があって、安心して働き続けることができます。その意味で放課後児童クラブでの生活を保護者に伝えることは指導員の大事な仕事です。指導員も家庭での様子を知ることによって、的確な保育を行うことができます。父母と伝え合うことの意味、どのように伝えるかを学びます。

第6分科会

※ 県連協カリキュラム【1年次3-(2)課】

【テーマ】子どものケガ・事故への対応、安全管理

【講師】布施 晴美(十文字学園女子大学人間生活学部教授)

【内容】子どもの健康状態を把握し、ケガや事故が起こらないように安全を確保することは保育の基本です。万一起こってしまった場合でも、指導員には適切な対処・対応が求められます。学童クラブでどんなケガや事故が起きやすいか、極力起こさないための安全管理、事後の対処などについて学びます。

第7分科会

※ 県連協カリキュラム【1年次3-(3)課】

【テーマ】室内でのあそび つくってあそぼう

【講師】坪 良一(所沢市北野学童クラブ(コスモス)指導員)

【内容】あそびは、学童クラブの生活の中心です。指導員は、どの子にとっても魅力ある生活の場になるよう様々なあそびや活動の選択肢を用意しておく必要があります。この分科会では、手作り工作を実際につくりながら学びます。 ※ 材料費を別途徴収します。

第8分科会

※ 県連協カリキュラム【1年次3-(3)課】

【テーマ】読み語り(読み聞かせ)

【講師】風間 操(ユニット「こころ座」主宰)

【内容】一歩足を踏み入れると、本は子どもの心をつかんで離さない魅力があります。一冊の本で知らないことを知ったり共感をしたり、本を通して子どもたちは成長していきます。読み語りの魅力、放課後児童クラブの生活でどのように進めるかを学びます。

第9分科会 ※県連協カリキュラム【1年次4-(1)課、2・3年次4-(1)課】

【テーマ】日々の記録から実践の記録へ

【講師】渡辺 紀子(草加市清門児童クラブなずな指導員)

【内容】日々の子どもとの関わりを記録することは、保育を振り返って確かめ、より豊かな保育をつくっていく上で大切な仕事です。この積み重ねが実践の向上につながります。記録することの大事さ、どう書くか、実践記録にどうつなげていくかを学びます。

第10分科会

※ 県連協カリキュラム【1年次4-(2)課】

【テーマ】通信・クラブだよりの作成  
【講師】霜村 三二（埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター研究員）  
【内容】放課後児童クラブの子どもの様子や子どもたち同士の関わり、生活の様子を保護者に一斉に伝える上で通信・クラブだよりが大きな役割を果たします。通信には、子どもたちの様子だけでなく指導員の子どもへの見方・関わり方も知らせ、放課後児童クラブの生活全般についての理解を広げる役割もあります。通信の大切さ、何をどう書くかを学びます。

第11分科会

※ 県連協カリキュラム【2・3年次1-(2)課】

【テーマ】学童保育と家族支援 ～ネットワークづくりとスキルを学ぶ～  
【講師】下浦 忠治（日本社会事業大学専門職大学院講師）  
【内容】放課後児童クラブの役割の一つに、保護者を含めた家族支援があります。今日、多様化した家族を支援するには、関係諸機関との連携が不可欠です。また、放課後児童クラブの専門性を活かした家族支援のスキルを意識することも大切です。放課後児童クラブにおける家族支援のネットワークづくりや活用できるスキルなどについて学びます。

第12分科会

※ 県連協カリキュラム【2・3年次2-(1)課】

【テーマ】教室の中の子どもたち ～学校と放課後児童クラブ（学童保育）  
【講師】関口 武（さいたま市公立小学校教諭）  
【内容】子どもたちは昼間、学校と学童保育で生活しています。学校で見せる顔と学童保育での顔とが違うこともよくあります。指導員は、学校の、教室の中の子どもたちを知り、学童保育での生活づくりを進める必要があります。「いじめ」や「学力」問題など、学校現場はたくさんの課題・問題も抱え、多くの教師たちは悩みながら子どもと向きあっています。学校はいまどうなっているか？学校・教師と学童保育とどう連携して、子どもを支援していくかを学びます。

第13・14分科会

※ 県連協カリキュラム【2・3年次2-(2)課】

【テーマ】発達障害のある子の理解と支援  
【内容】落ち着かない、ひとの話が聞けない、言葉の前に手が出てしまう。「ちょっと気になる子」と言われる子どもが増えています。周りの人たちにとって「困った子」は、本当は本人自身が「困っている子」です。そうした子どもをどう理解し、支援していくかを学びます。

第13分科会 【講師】高山 恵子（NPO法人えじそんくらぶ代表）

第14分科会 【講師】並木たい子（元県立特別支援学校教諭）

第15分科会

※ 県連協カリキュラム【2・3年次2-(2)課】

【テーマ】特別支援学校の中高生を対象とした生活づくり

【講師】塚田 直也 (筑波大学附属久里浜特別支援学校教諭)

【内容】小学部から高等部まで12年間を過ごす障害児学童保育の生活づくりの中で、思春期の子どもたちへの対応は悩ましいものです。しかし、小学部低学年時代から関わっている指導員たちにとって「思春期問題」は、その子の成長過程で起こる必然とも見える姿です。中高生思春期の生活をどうつくるかを学びます。

第16分科会

※ 県連協カリキュラム【2・3年次3-(2)課】

【テーマ】放課後児童クラブの生活とあそび

【講師】菊地 妙子 (川越市牛子学童保育室指導員)

【内容】子どもにとってあそびは何かのためにするのではなく、それ自体が目的です。子どもたちは友だちとの関わりでいろいろなあそびを見つけ、また指導員もいろいろなあそびを子どもたちに伝え、一緒にあそんでいきます。放課後児童クラブの中でのあそびの意味、どう展開していくか、指導員の配慮の仕方などを学びます。

第17分科会

※ 県連協カリキュラム【2・3年次3-(4)課】

【テーマ】高学年の子どもたちを含めた生活づくり

【講師】中野 実雄 (さいたま市宮原小学学童保育はちのすクラブ指導員)

【内容】思春期前期にさしかかる高学年の子どもたちは心と身体に変化も始まります。いら立ちやストレスを現すこともあります。同時に、あそびや生活の幅を広げてくれる高学年は低学年のあこがれでもあり、クラブの中で面倒をみる・みられる関係も見られます。高学年を含めた生活づくりで大切にしたいことを学びます。

第18分科会

【テーマ】人間と性を学ぶ

【講師】任海 園子 (元東京都立小岩養護学校養護教諭)

【内容】日本では、コンビニやネット等に「アダルト」情報が氾濫し、子どもも簡単にアクセスできる環境にあります。女性のからだを「モノ」扱いする風潮も強くあります。自己や異性のセクシュアリティについて科学的に正しい学習を通して「心とからだの主人公」になることが大切です。思春期初期の高学年の子どもにつきものの性の問題を学びます。



(別添)

平成25年度埼玉県放課後児童クラブ新任指導員研修会、  
(第13回埼玉県学童保育新人指導員研修会)開催要項

1 趣 旨

放課後児童健全育成事業(学童保育)を実施する上で、子どもたちの健全育成を図る指導員の果たす役割は大変重要である。

そこで、新任指導員を対象として、指導員の仕事に携わる上で必要な基本的・基礎的事項について研修を実施する。

2 実施方法 受講者全員に対して講義により実施

3 主 催 埼玉県・埼玉県学童保育連絡協議会

4 期 日 平成26年3月9日(日) 開場9:30  
10:00~16:15

5 会 場 さいたま市民会館うらわ ホール  
さいたま市浦和区仲町2丁目10-22 Tel 048-822-7101

6 対象者 新任指導員(平成25年度途中採用者及び平成26年度採用予定者)

7 定 員 250名程度

8 研修内容

第1講 10:00~12:00

【テーマ】学童保育の役割と指導員の仕事
【講師】橋本晶子(坂戸市あおぞらクラブ指導員)
【内容】①学童保育の役割と指導員の仕事
②子どもの安全と健康を守る
③保護者との伝え合い
④指導員の仕事に求められる倫理

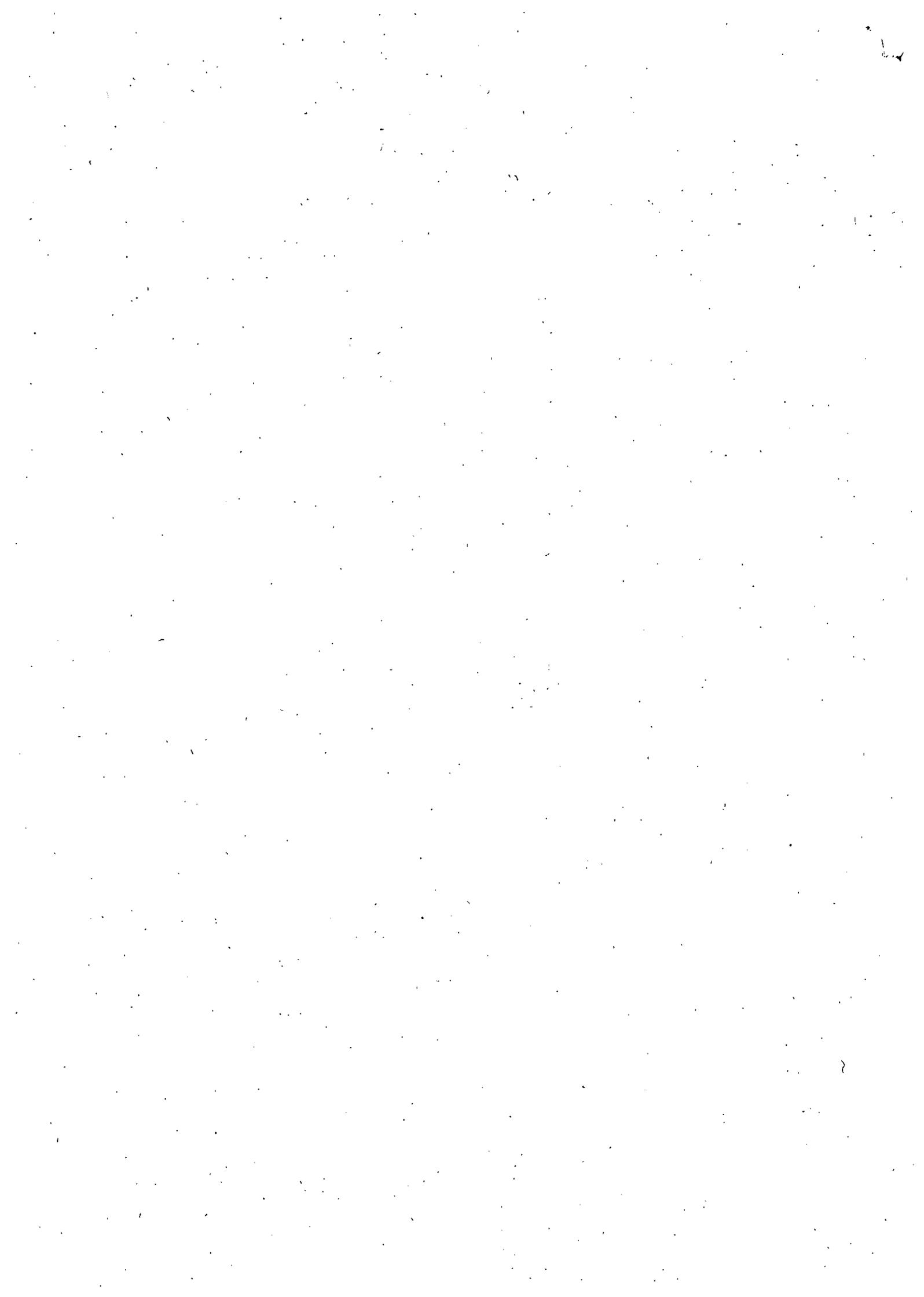
第2講 13:15~13:45

【テーマ】学童保育と指導員に我が子を託す親の思い・願い
【講師】大藤朋子(上尾市尾山台学童保育所保護者)
【内容】①私自身の学童保育体験
②学童保育と指導員への願い

【13:45~14:15 手遊び・実技コーナー】

第3講 14:15~16:15

【テーマ】学童保育の一日・年間の流れ、指導員の日々の実務
【講師】佐藤正美(さいたま市東小学童保育の会指導員)
【内容】①一日の流れ
②年間を通しての生活
③指導員としての日々の実務



平成26年度放課後児童クラブ障害児担当指導員研修会開催要項

1 趣旨

放課後児童健全育成事業を適切に実施するため、放課後児童クラブの指導員に研修の機会を提供し、専門的知識や技術等の習得及び資質向上を図る。

2 主催

埼玉県、埼玉県学童保育連絡協議会

3 研修方法

受講生に対する講義

4 日時及び会場

平成26年7月16日(水) 9:45～12:00

市民会館うらわ ホール

(さいたま市浦和区仲町2-10-22 電話 048-822-7101)

5 対象者

障害児担当指導員

6 講義内容 「(仮) 特別な配慮を必要とする児童の理解と支援」

7 講師 鈴木 郁子 氏

(社会福祉法人毛呂病院 光の家療育センター 施設長)



## 放課後児童指導員等研修事業実施要領

## 第1 趣旨

児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づく放課後児童健全育成事業（以下「放課後児童健全育成事業」という。）に携わる職員等に対して、放課後児童指導員等として要求される基礎的及び専門的な知識と技術を修得するための研修を実施することによって、資質の向上を図り、児童の健全育成の一層の推進を図ることを目的とする。

## 第2 実施主体

本事業の実施主体は、県とする。

## 第3 対象者

本事業の対象者は、次のとおりとする（政令市、中核市を除く。）。

- (1) 放課後児童健全育成事業を実施するための施設（放課後児童クラブ）に従事する放課後児童指導員及び放課後児童クラブの活動に関わるボランティアなど
- (2) 放課後子ども教室推進事業（平成24年5月1日24文科生第84号、雇児発0501第1号、文部科学省生涯学習政策局長、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知『「放課後子どもプラン推進事業の実施について」の一部改正について』の別添1「放課後子ども教室推進事業等実施要綱」に規定する放課後子ども教室推進事業）の担当者及び事業が円滑に運営されるためにこれらの者と連携・協力を行う学校の教職員など

## 第4 事業内容

本事業は、次により行なうものであること。

- (1) 本事業の実施にあたっては、放課後児童健全育成事業を実施する市町と連携を図ることとする。
- (2) 事業内容については、平成24年5月1日24文科生第84号、雇児発0501第1号、文部科学省生涯学習政策局長、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長連名通知『「放課後子どもプラン推進事業の実施について」の一部改正について』の別添2「放課後児童健全育成事業等実施要綱」IV「放課後児童指導員等資質向上事業」の規定に基づき、県が実施計画を立てるものとする。
- (3) 本事業で研修を受ける放課後児童指導員等は、その内容を運営者又は管理者へ報告し、かつ、他の放課後指導員等へも事後指導を行うよう努めるものとする。
- (4) 放課後子ども教室推進事業の担当者に対する研修を併せて実施する場合には、放課後子ども教室推進事業及び放課後児童クラブそれぞれの担当者又は指導員等が両研修を相互に受講できるよう連携を図るとともに、両研修内容の整合性や日程等にも配慮する。
- (5) 放課後児童クラブにおける障害児の受入を推進し、適切な対応を図るため、研修内容に必要な知識の習得や実践的な指導技術に関する援助方法を盛り込むなど、障害児対応指導員の資質の向上に努めること。

## 第5 その他

県は、事業の実施に当たり、関係市町と連携を密にし、事業が円滑に行われるよう努めるものとする。

### 附 則

この要領は、平成11年2月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成18年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成19年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成20年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成21年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成22年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成24年5月1日から施行する。

# 平成25年度 放課後児童指導員等研修事業実施計画

## 1 実施主体

県健康福祉センター

## 2 実施根拠

- 平成24年5月1日24文科生第84号、雇児発0501第1号、文部科学省生涯学習政策局長、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長連名通知「放課後子どもプラン推進事業の実施について」の別添2「放課後児童健全育成事業等実施要綱」I「放課後児童健全育成事業」  
(4(11)都道府県においても、放課後児童指導員の計画的な研修を実施すること)
- 平成24年5月1日24文科生第84号、雇児発0501第1号、文部科学省生涯学習政策局長、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長連名通知「放課後子どもプラン推進事業の実施について」の別添2「放課後児童健全育成事業等実施要綱」IV「放課後児童指導員等資質向上事業」

## 3 実施方法

- 県内を次のとおり4地域に分け、各地域で実施することとする。
- 東部地域は、東部健康福祉センターと他のセンターで協力して実施することとする。

地 域	構成健康福祉センター
東 部	東部、賀茂、御殿場、熱海
富 士	富士
中 部	中部
西 部	西部

## 4 事業費

296千円(国庫補助事業 補助率1/3)

## 5 開催時期・日数

平成26年2月末までに、各地域で2日実施するものとする。

## 6 対象者

県内の放課後児童健全育成事業に携わる職員等(政令市、中核市を除く)

## 7 研修内容

研修内容	時間(分)
(1) 開講・ガイドブックについて	5
(2) 事例発表	40
(3) 講義等	75

※時間配分や順番は目安であり、適宜変更してかまわない。

### (1) 放課後児童クラブガイドブックについて

受講者には、事前にガイドブックを通読してから出席するよう、募集の際に市町を通じて周知する。また、研修時に、ガイドブックの活用について口頭で案内する。(ガイドブックは、各市町、各放課後児童クラブに送付してあるほか、県のHPからダウンロードも可能。)

## (2) 事例発表

他市町の放課後児童クラブの事業実施内容を学び、よい取り組みについては取り入れるきっかけとするため、2～3箇所程度、事例発表を依頼する。

※ 発表者には旅費のみ支払い（謝金なし）とする。

※ 発表者には、次のような依頼を事前にする。

(例)

- ・ はじめに、クラブの概要（場所、児童数、運営主体、周囲の環境など）を紹介してください。
  - ・ 成功した事例だけでなく、失敗体験も話してもらうことが、受講者にとって参考となります。
  - ・ 改善事例は、小さなことや、他のクラブでもやっていると思うようなことでもかまいません。（自分たちも行っている取り組みが紹介されることで、自信につながります。）
  - ・ 放課後児童クラブで指導するにあたって、大切にしていることや、印象深いエピソードなど、「思い」をお話してください。
- ※ プロジェクターを用意し、クラブの様子を写真で紹介するなど、視覚的にわかりやすい工夫をする。

<参考> 以下は、実地研修事業のアドバイザーからの情報(24年度)などです。

クラブ名	内容
多賀っ子クラブ (熱海市)	夏休みにクラブのOB、OGが助っ人に来て、子どもたちの遊び相手をしている。
長岡南小放課後児童クラブ (伊豆の国市)	おやつの後、机の配置を換え、アコーディオンカーテンを途中までひき、宿題をする子と遊ぶ子がクロスしないように空間の再構成を行っている。 また、おやつの日などの工夫を行っている。
やまゆり児童会 (長泉町)	夏休みなど、いくつかあるスケジュールのパターンを大きく書いて掲示。その他にも、視覚的な工夫があった。
げんきクラブ (御殿場市)	模造紙に、指導員からのお願いと、子どもたちが話し合っ て決めた目標を大きく書いて掲示。(視覚的工夫)
明倫小学校放課後児童クラブ (小山町)	電車の利用や、お小遣いの使い方なども学ぶ機会として、社会見学を実施。
広見こどもクラブ (富士市)	夏休みに、保護者に順番でクラブの手伝いをしてもらっている。保護者に、クラブ生活について知ってもらうきっかけになり、指導員と保護者の関係作りにも役立つ。
おおとみキッズ (焼津市)	おやつ時間に、「静かに待っていてえらいね」と、してほしい行動を声掛けすることにより、より静かになった。
第二小学童保育所 (つくし) (掛川市)	指導員の関わり方が優れている。(ほめるだけでなく、「うれしかった」という気持ちを伝える、けんかした児童の話をよく聞き、双方に共感するなど) 指導員同士の情報共有に努めている。

(3) 講義等

昨年度の研修会の際に実施したアンケートの結果や市町における放課後児童指導員等に対する研修内容、県教育委員会における「放課後子どもプラン」コーディネーター研修及び安全管理員研修等を参考にして、各地域でテーマを選定することとする。

<例示>

研修科目・講義内容等
児童福祉概論、放課後児童クラブの制度概要等
子どもの発達（児童発達理論）
発達障害児など配慮を必要な子どもの支援
いじめや虐待への対応
防災・防犯対策
保護者支援と連携
参加者の意見交換など

8 計画表の提出

各地域の中心となるセンターは、研修項目等について、研修実施の1か月前までに「様式1 放課後児童指導員等研修会実施計画表」をこども未来課まで提出するものとする。

9 実績報告書の提出

各地域の中心となるセンターは、研修実施後1か月以内に、「様式2 放課後児童指導員等研修会実績報告書」をこども未来課まで提出するものとする。

放課後児童指導員等研修会実施計画表

地区名 ( ) 地区

センター名 ( ) 健康福祉センター

1日目 ・開催時期 年 月 日

・開催場所

時 間	研修項目 (テーマ)	講師・事例発表者 (候補)	左記講師等への報償費及び旅費支給額 (予定)
	内 容		
△. △時間 ○:○○~ □:□□			報償費 _____ 円
			旅費 _____ 円
			その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) _____ 円
△. △時間 ○:○○~ □:□□			報償費 _____ 円
			旅費 _____ 円
			その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) _____ 円
△. △時間 ○:○○~ □:□□			報償費 _____ 円
			旅費 _____ 円
			その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) _____ 円

2日目予定 ・開催時期 年 月 日

放課後児童指導員等研修会実施計画表

地区名 ( ) 地区

センター名 ( ) 健康福祉センター

2日目 ・開催時期 年 月 日

・開催場所

時 間	研修項目 (テーマ)	講師・事例発表者 (候補)	左記講師等への報償費及び旅費支給額 (予定)
	内 容		
△. △時間 ○:○○~ □:□□			報償費 _____ 円
			旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) _____ 円
△. △時間 ○:○○~ □:□□			報償費 _____ 円
			旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) _____ 円
△. △時間 ○:○○~ □:□□			報償費 _____ 円
			旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) _____ 円

放課後児童指導員等研修会実績報告書

地区名 ( ) 地区

1日目 ・ 2日目

センター名 ( ) 健康福祉センター

・開催日 年 月 日

・参加人数 人、クラブ数 ( クラブ)

・開催場所

時 間	研修項目 (テーマ)	講 師 等	左記講師等への報償費及び旅費支給額
	内 容		
△. △時間 ○:○○~ □:□□			報償費 _____ 円
			旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) _____ 円
△. △時間 ○:○○~ □:□□			報償費 _____ 円
			旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) _____ 円
△. △時間 ○:○○~ □:□□			報償費 _____ 円
			旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) _____ 円
		計	_____ 円

「放課後子ども教室推進事業」の担当者研修と併せて実施した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

連携の有無	内容
有・無	

障害児対応指導員の研修を開催した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

障害児対応の有無	内容
有・無	

※ 研修会当日の資料 (レジュメ、参加者名簿等)、アンケートの結果 (集計) を添付願います。

放課後児童指導員等研修会実施計画表

地区名 ( 東部 ) 地区

センター名 ( 東部 ) 健康福祉センター

1日目 ・開催時期 平成25年7月16日

開催場所 東部総合庁舎 別棟2階会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講師・事例発表者 (候補)	左記講師等への報償費及び旅費支給額 (予定)
	内 容		
1.25時間 10:05~ 11:20	子どもの食生活について 夏休みの時期を迎え、子ども達の食事時間が変わったり冷たいものを好むなど、食生活が乱れがちとなるため、あらためて、子どもの食生活の基本を学び直す。	東部健康福祉センター健康増進課職員	報償費 0 円 旅費 0 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) 0 円
0.6時間 11:20~ 12:00	事例発表・意見交換 沼津市内の放課後児童クラブの事例をもとに事例発表及び意見交換を行う。	沼津市内の放課後児童クラブ	報償費 0 円 旅費 0 円 (予定) その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) 0 円
△:△時間 ○:○○~ □:□□			報償費 円 旅費 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) 円

2日目予定 ・開催時期 平成25年12月頃 (未定)



放課後児童指導員等研修会実施計画表

地区名 ( 東部 ) 地区 \_\_\_\_\_

センター名 ( 東部 ) 健康福祉センター \_\_\_\_\_

2日目 ・ 開催時期 平成26年1月22日

・ 開催場所 東部総合庁舎 別棟2階会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講師・事例発表者 (候補)	左記講師等への報償費及び旅費支給額 (予定)
	内 容		
1.0時間 10:00~ 11:00	児童虐待の現状と対応について	東部児童相談所 職員	報償費 0 円
	・ 放課後児童指導員等に児童虐待に関する知識と対応を学んでいただき、必要に応じて公的機関への通報等の連携をお願いする。		旅費 0 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) 0 円
1.0時間 11:00~ 12:00	事例発表「安全管理・防災対策」	沼津市大岡南放課後児童クラブ 放課後児童指導員	報償費 0 円
	・ 沼津市内の放課後児童クラブから、児童の安全対策や防災対策の事例を発表していただき、参加クラブの参考とする。		旅費 0 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) 0 円



様式 1-1

放課後児童指導員等研修会実施計画表

地区名 (中部) 地区 \_\_\_\_\_

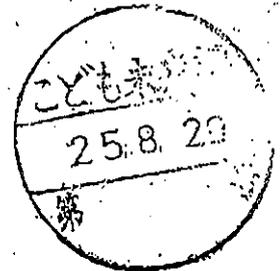
センター名 (中部) 健康福祉センター \_\_\_\_\_

1日目 ・開催時期 25年9月25日

・開催場所 藤枝総合庁舎別館2階第1会議室

時間	研修項目 (テーマ)	講師・事例発表者 (候補)	左記講師等への報償費及び旅費支給額 (予定)
	内容		
0.5時間 9:35~ 10:05	第4次被害想定と発災への対応 ～指導員の役割と心構えについて～  第4次被害想定を踏まえ、発災時における 子どもたちの生命と安全を守るため、指導員 の役割と心構えについて習得する。	中部危機管理局 危機管理課 内倉 主査	報償費 _____ 円 旅費 _____ 円 その他 (報償費及び 旅費以外に必要な経 費) _____ 円
1.4時間 10:05~ 11:25	グループ討議  他市町のクラブとの情報交換を通じ、よい 取り組みを学ぶとともに、普段疑問に思っ ていることなどを話し合い、今後のクラブ運営 に役立てる。  ① うちのクラブのいいところ、また、指導 にあたり大切にしていることや印象深かっ たこと (うまくいっていると思われるとこ ろ) ② 指導にあたり、日ごろ疑問に思っている ことやよそのクラブに聞いてみたいこと		報償費 _____ 円 旅費 _____ 円 その他 (報償費及び 旅費以外に必要な経 費) _____ 円

2日目予定 ・開催時期 25年10月23日



様式 1-1

放課後児童指導員等研修会実施計画表

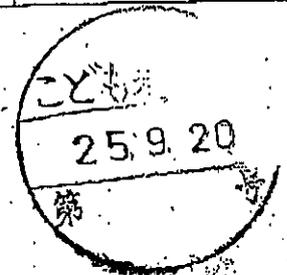
地区名 (中部) 地区 \_\_\_\_\_

センター名 (中部) 健康福祉センター \_\_\_\_\_

2日目 開催時期 25年10月23日

開催場所 藤枝総合庁舎別館2階第1会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講師・事例発表者 (候補)	左記講師等への報償費及び旅費支給額 (予定)
	内 容		
0.5時間 9:35~ 10:05	相談事例に見る発達障害とその対応について  発達障害に係る相談内容とその傾向、発達障害の基礎知識 (発達障害児の特性) 等を踏まえ、支援の進め方、具体的関わり方など、こどもたちと良好な関係を築くためのスキルについて習得する。	中部健康福祉センター 中央児童相談所 相談部 山田相談判定課長	報償費 _____ 円 旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) _____ 円
1.4時間 10:05~ 11:25	グループ討議  他市町のクラブとの情報交換を通じ、よい取り組みを学ぶとともに、普段疑問に思っていることなどを話し合い、今後のクラブ運営に役立てる。  テーマ 「発達障害児等への対応について」 発達障害児等に対する具体的な支援方法や保護者とのかかわり、職員間での情報共有等、各クラブにおける取り組み状況、悩み、疑問等について、情報交換を行う。		報償費 _____ 円 旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要な経費) _____ 円



放課後児童指導員等研修会実施計画表

地区名 ( 富士 ) 地区

センター名 ( 富士 ) 健康福祉センター

1日目 ・開催時期 平成25年11月1日(金)  
 ・開催場所 富士総合庁舎601会議室

時 間	研修項目(テーマ)	講師・事例発表者 (候補)	左記講師等への報償費 及び旅費支給額(予定)
	内 容		
0.5時間 9:30~ 10:00	個別クラブの活動状況の紹介	管内市放課後児童クラブ児童指導員等(2施設を予定)	報償費 0 円 旅費 未定 円
	他(市)の放課後児童クラブの事業実施内容を学び、よりよい組みについては取り入れるきっかけとするため、クラブでの取り組みについて紹介・発表をする。		
1.5時間 10:00~ 11:30	こどものアレルギーの基礎知識 ～食物アレルギー・喘息・花粉症について～	富士保健所 後藤幹生 所長	報償費 0 円 旅費 0 円
	小児科医である講師から、近年、増加が指摘されている、ぜんそく・花粉症・食物アレルギー等のアレルギーをもつ子どもに対する対応と、アレルギーの基礎知識を学び、放課後児童クラブでの支援活動に役立てる。		

2日目予定 ・開催時期 平成26年2月中旬

放課後児童指導員等研修会実施計画表

地区名 (富士) 地区

センター名 (富士) 健康福祉センター

- 2 日 目
- ・開催時期 平成26年2月中旬
  - ・開催場所 富士健康福祉センター601会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講師・事例発表者 (候補)	左記講師等への報償費 及び旅費支給額 (予 定)
	内 容		
0.5時間 9:30~ 10:00	個別クラブの活動状況の紹介	管内市放課後児 童クラブ児童指 導員等 (2施設を 予定)	報償費 0 円 旅費 未定 円
	他 (市) 放課後児童クラブの事業実施内 容を学び、よい取り組みについては取り 入れるきっかけとするため、クラブでの 取り組みについて紹介・発表をする。		
1.5時間 10:00~ 11:30	(仮) 情緒障害児短期治療施設でのこど も支援の取り組みについて	富士児童相談所 (職員派遣調整 中)	報償費 0 円 旅費 未定 円
	研修会で扱ってほしいテーマとして要望 の多い発達障害児の支援について、実際 に、発達障害等で様々な行動上の障害を 有するこども達に対して、支援を行って いる講師から、体験談や支援スキルの紹 介をいただき、今後の支援活動に役立て る。		

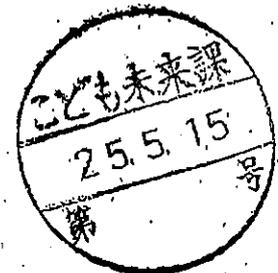
放課後児童指導員等研修会実施計画表

地区名 ( 西部 ) 地区  
センター名 ( 西部 ) 健康福祉センター

1日目 ・開催時期 平成25年6月28日 (金)  
・開催場所 中遠総合庁舎西館204会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講師・事例発表者 (候補)	左記講師等への報償費 及び旅費支給額 (予定)
	内 容		
0.5時間 9:30~ 10:00	個別クラブの活動状況の紹介 他 (市町) 放課後児童クラブの事業実施 内容を学び、よい取り組みについては取り 入れるきっかけとするため、クラブで の取り組みについて紹介・発表をする。	管内市町放課後 児童クラブ児童 指導員等 (2施設 を予定)	報償費 0 円 旅費 未定 円
1.5時間 10:00~ 11:30	コモンセンス・ペアレンティングにつ いて 指導員の援助技術の向上を目的として、 こどもの問題行動を軽減し、望ましい行 動を効果的に促すためのプログラムを学 ぶ。 (コモンセンス・ペアレンティング=ア メリカで開発され日本に導入された親 (大人) 支援プログラムで、行動療法の 理論を背景に、こどもの問題行動に教育 的に対処できるスキルを身につけること を、目的としている。)	西部児童相談所 育成課 児童福祉司等 サポート職員  阿部 順子 氏	報償費 0 円 旅費 0 円

2日目予定 ・開催時期 平成25年10月中旬



放課後児童指導員等研修会実施計画表

地区名 ( 西部 ) 地区

センター名 ( 西部 ) 健康福祉センター

2日目 ・開催時期 平成25年10月中旬

・開催場所 中遠総合庁舎西館204会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講師・事例発表者 (候補)	左記講師等への報償費 及び旅費支給額 (予定)
	内 容		
0.5時間 9:30~ 10:00	個別クラブの活動状況の紹介	管内市町放課後 児童クラブ児童 指導員等 (2施設 を予定)	報償費 0 円 旅費 未定 円
	他 (市町) 放課後児童クラブの事業実施 内容を学び、よい取り組みについては取り 入れるきっかけとするため、クラブで の取り組みについて紹介・発表をする。		
1.5時間 10:00~ 11:30	(仮) 情緒障害児短期治療施設でのこども も支援の取り組みについて	吉原林間学園 治療指導課 治療班長 市原 真記 氏	報償費 0 円 旅費 0 円
	発達障害や虐待等の理由により入所して いる、様々な行動障害を有することも選 に対して、支援を実践している講師か ら、体験談や支援スキルの紹介をいた だき、放課後児童クラブでの支援活動に役 立てる。		

放課後児童指導員等研修会実績報告書

地区名 ( 東部 ) 地区

1 日 目

センター名 ( 東部 ) 健康福祉センター

開催日 平成25年7月16日

参加人数 59人、クラブ数 (41クラブ)

開催場所 東部総合庁舎 別棟2階会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講 師 等	左記講師等への報償費及び旅費支給額
	内 容		
5分 10:00~ 10:05	開講・ガイドブックについて ・ガイドブックの周知及び活用の案内 ・県ホームページからのダウンロード手順の説明	東部健康福祉センター 福祉課職員 (渡邊副班長)	報償費 0 円 旅費 0 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 0 円
1.0時間 10:15~ 11:15	講義「子どもの食生活について」 ・食育とは何か ・子どもの体と栄養について ・子どもの食について ・子どものおやつについて ・熱中症予防について 等	東部健康福祉センター 健康増進課職員 (内藤主査)	報償費 0 円 旅費 0 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 0 円
40分 11:20~ 12:00	放課後児童クラブの紹介 (口頭) ・意見交換 ・沼津市内の各クラブの事例紹介 ・1クラブあたり3~5分で発表 ・クラブの概要紹介 ・指導にあたって心掛けていること ・エピソードや取り組みについて 等	沼津市内の放課後児童クラブからの出席者 (8名の指導員)	報償費 0 円 旅費 0 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 0 円
		計	0 円

「放課後子ども教室推進事業」の担当者研修と併せて実施した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

連携の有無	内容
有 (無)	

障害児対応指導員の研修を開催した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

障児研の有無	内容
有 (無)	

※ 研修会当日の資料 (レジュメ、参加者名簿等)、アンケートの結果 (集計) を添付願います。

放課後児童指導員等研修会実績報告書

地区名 ( 東部 ) 地区

2 日 目

センター名 ( 東部 ) 健康福祉センター

・開催日 平成26年1月22日

・参加人数 102人、クラブ数 (59クラブ)

・開催場所 東部総合庁舎 別棟2階会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講 師 等	左記講師等への報償費及び旅費支給額
	内 容		
5分 10:00~ 10:05	開講・ガイドブックについて	東部健康福祉センター 福祉課職員 (渡邊副班長)	報償費 0 円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドブックの届知及び活用の案内</li> <li>県ホームページからのダウンロード手順の説明</li> </ul>		旅費 0 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 0 円
45分 10:10~ 10:55	講義「児童虐待の現状と対応」	東部児童相談所 育成課職員 (鈴木育成課長)	報償費 0 円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童相談所について</li> <li>児童虐待の定義について</li> <li>児童虐待の要因について</li> <li>児童虐待対応件数の状況について</li> <li>放課後児童指導員に求められること</li> </ul> 等		旅費 0 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 0 円
50分 11:05~ 11:55	事例発表「安全管理・防災への取り組み」	沼津市 大岡南放課後児童クラブ 放課後児童指導員 (渡辺芳枝)	報償費 0 円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブの紹介</li> <li>児童厚生員研修について</li> <li>ハインリッヒの法則について</li> <li>事故防止の取り組みについて</li> <li>防災・防犯への取り組みについて</li> </ul> 等		旅費 0 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 0 円
		計	0 円

「放課後子ども教室推進事業」の担当者研修と併せて実施した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

連携の有無	内容
有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	

障害児対応指導員の研修を開催した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

障害児対応の有無	内容
有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	

※ 研修会当日の資料 (レジュメ、参加者名簿等)、アンケートの結果 (集計) を添付願います。

放課後児童指導員等研修会実績報告書

地区名 ( 富士 ) 地区

1 日目 ・ 2 日目

センター名 ( 富士 ) 健康福祉センター

開催日 25年11月1日

参加人数 50 人、クラブ数 (42クラブ)

開催場所 静岡県富士総合庁舎 601会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講 師 等	左記講師等への報償費及び旅費支給額
	内 容		
20分 9:40~ 10:00	放課後児童クラブからの実践報告	佐野 雅菜 中野 ゆう子	報償費 円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆのっ子児童クラブの報告</li> <li>ぶらどーむ第2児童クラブの報告</li> </ul>		旅費 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 円
1.5時間 10:00~ 11:30	こどものアレルギーの基礎知識 ～食物アレルギー・喘息・花粉症について～	静岡県富士保健所 所長 後藤 幹生	報償費 円
	<ol style="list-style-type: none"> <li>こどもの食物アレルギー</li> <li>こどもの気管支喘息</li> <li>こどもの花粉症 (アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎)</li> </ol>		旅費 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 円
△.△時間 ○:○○~ □:□□			報償費 円
			旅費 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 円
		計	円

「放課後子ども教室推進事業」の担当者研修と併せて実施した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

連携の有無	内容
有・無	

障害児対応指導員の研修を開催した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

障害児対応の有無	内容
有・無	

※ 研修会当日の資料 (レジュメ、参加者名簿等)、アンケートの結果 (集計) を添付願います。

放課後児童指導員等研修会実績報告書

地区名 ( 富士 ) 地区

1 日目 ・ 2 日目

センター名 ( 富士 ) 健康福祉センター

開催日 26 年2月21日

参加人数45 人、クラブ数 (43クラブ)

開催場所 静岡県富士総合庁舎 601会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講 師 等	左記講師等への報償費及び旅費支給額
	内 容		
20分 9:40~ 10:00	放課後児童クラブからの実践報告	加藤 道代 野村 深雪	報償費 円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>丘第2移動クラブの報告</li> <li>音葉台児童クラブBの報告</li> </ul>		旅費 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 円
1.5時間 10:00~ 11:30	発達障害児の支援について	静岡県富士特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 大石 啓文 先生	報償費 円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害について</li> <li>DVD視聴 (2例)</li> <li>苦手なこと</li> <li>支援の考え方</li> <li>対応の仕方</li> <li>まとめ</li> </ul>		旅費 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 円
△.△時間 〇:〇〇~ □:□□			報償費 円
			旅費 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) 円
		計	円

「放課後子ども教室推進事業」の担当者研修と併せて実施した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

連携の有無	内容
有・無	富士宮市：該当なし 富士市：教育委員会社会教育課を通じ通知を送付し、市職員2名の参加希望があったが、当日は所要により参加できなかった。

障害児対応指導員の研修を開催した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

障害児対応の有無	内容
有・無	

※ 研修会当日の資料 (レジュメ、参加者名簿等)、アンケートの結果 (集計) を添付願います。

放課後児童指導員等研修会実績報告書

地区名 (中部) 地区

1日目 2日目

センター名 (中部) 健康福祉センター

開催日 25年 9月 25日

参加人数 54人、クラブ数 (48クラブ)

開催場所 藤枝総合庁舎別館会議室

時間	研修項目 (テーマ)	講師等	左記講師等への報償費及び旅費支給額
	内容		
0.5時間 9:35~ 10:05	第4次被害想定と発災への対応 ~指導員の役割と心構えについて~ ① 過去の震災と地震のメカニズム ② 静岡県第4次被害想定 ③ 指導員の役割と心構えについて ④ 本当に大丈夫?振り返ってみよう	中部危機管理局 危機管理課 内倉主査	報償費 _____ 円 旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) _____ 円
1.25時間 10:05~ 11:20	グループ討議 ① うちのクラブのいいところ、また、指導に当たり大切にしていること、印象深かったこと ② 指導にあたり、日ごろ疑問に思っていることや他のクラブに聞いてみたいこと		報償費 _____ 円 旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) _____ 円
△.△時間 〇:〇〇~ □:□□			報償費 _____ 円 旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) _____ 円
		計	円

「放課後子ども教室推進事業」の担当者研修と併せて実施した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

連携の有無	内容
有・無	

障害児対応指導員の研修を開催した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

障害対応の有無	内容
有・無	

※ 研修会当日の資料 (レジュメ、参加者名簿等)、アンケートの結果 (集計) を添付願います。

放課後児童指導員等研修会実績報告書

地区名 (中部) 地区

1日目 ・ 2日目

センター名 (中部) 健康福祉センター

開催日 25年 10月 23日

参加人数 61人、クラブ数 (52クラブ)

開催場所 藤枝総合庁舎別館会議室

時間	研修項目 (テーマ)	講師等	左記講師等への報償費及び旅費支給額
	内容		
0.5時間 9:35~ 10:05	相談事例に見る発達障害とその対応について  発達障害の基礎知識 (発達障害児の特性) 等を踏まえ、児童に関わる際の留意点、保護者と関わる際のポイント、クラブとしての役割と姿勢等、こどもたちと良好な関係を築くためのスキルについて習得した。	中部健康福祉センター  中央児童相談所 相談部 山田相談判定課長	報償費 _____ 円 旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) _____ 円
1.25時間 10:05~ 11:20	グループ討議  他市町のクラブとの情報交換を通じ、よい取り組みを学ぶとともに、普段疑問に思っていることなどを話し合い、今後のクラブ運営に役立てる。 テーマ 「発達障害児等への対応について」 発達障害児等に対する具体的な支援方法や保護者とのかかわり、職員間での情報共有等、各クラブにおける取り組み状況、悩み、疑問等について、情報交換を行った。		報償費 _____ 円 旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) _____ 円
△.△時間 ○:○~ □:□			報償費 _____ 円 旅費 _____ 円 その他 (報償費及び旅費以外に必要となった経費) _____ 円
		計	円

「放課後子ども教室推進事業」の担当者研修と併せて実施した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

連携の有無	内容
有・無	

障害児対応指導員の研修を開催した場合は、有に○を付けて具体的な内容を記載してください。

障害児対応の有無	内容
有・無	

※ 研修会当日の資料 (レジュメ、参加者名簿等)、アンケートの結果 (集計) を添付願います。

放課後児童指導員等研修会実績報告書

区名 (西部) 地区

1 日 目

センター名 (西部) 健康福祉センター

・開催日 平成25年6月28日

・参加人数 117人、クラブ数 (74クラブ)

・開催場所 中遠総合庁舎204会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講 師 等	左記講師等への報償 費及び旅費支給額
	内 容		
0.3時間 9:30~ 9:50	熱中症について	西部健康福祉 センター 健康増進課職員	報償費 0円
	熱中症についての知識とその対策について 理解を求めるとともに、注意喚起をおこな った。		旅費 0円 その他 (報償費 及び旅費以外に 必要となった経 費) 0円
0.3時間 9:50~ 10:10	放課後児童クラブの事例報告	勝川主任指導員	報償費 0円
	掛川市立第一小学校学童保育所ひまわりク ラブによる事例発表。保育計画の重要性につ いて発表いただいた。		旅費 0円 その他 (報償費 及び旅費以外に 必要となった経 費) 0円
1.4時間 10:10~ 11:30	コモンセンス ペアレンティングについて	西部児童相談所 育成課 阿部 順子氏	報償費 0円
	こどもの問題行動を軽減し、望ましい行動 を効果的に促すためのプログラムを講話だけ でなく、ロールプレイの実施やビデオを活用 して事例を体験しながら学んだ。		旅費 0円 その他 (報償費 及び旅費以外に 必要となった経 費) 0円
		計	0円

「放課後子ども教室推進事業」の担当者研修との実施

無し

障害児対応指導員の研修

無し

放課後児童指導員等研修会実績報告書

地区名 (西部) 地区

2 日 目

センター名 (西部) 健康福祉センター

・開催日平成25年10月18日 (金)

・参加人数 124人、クラブ数 (78クラブ)

・開催場所 中遠総合庁舎204会議室

時 間	研修項目 (テーマ)	講 師 等	左記講師等への報償 費及び旅費支給額
	内 容		
0.5時間 9:30~ 10:00	個別クラブの事例報告	伊東指導員	報償費 0円
	袋井北小学校区放課後児童クラブ (のびのび西クラブ) による事例発表。基 本理念の大切さを含めて発表いただいた。		旅費 0円 その他 (報償費 及び旅費以外に 必要となった経 費) 0円
1.5時間 10:00~ 11:30	情緒障害児短期治療施設でのこども支援の取 り組みについて	吉原林間学園 治療指導課 治療班長 市原 真記氏	報償費 0円
	発達障害や虐待等の理由により入所してい る、様々な行動障害を有するこどもに対し て、支援を実践している講師から、体験談や 支援スキルの紹介をいただき、放課後児童ク ラブでの支援活動に活用する方法を学んだ。		旅費 0円 その他 (報償費 及び旅費以外に 必要となった経 費) 0円
		計	0円

「放課後子ども教室推進事業」の担当者研修との実施

無し

障害児対応指導員の研修

無し

※ 1・2回目ともセンター担当者から「放課後児童クラブガイドブック」の活用について依頼をし  
た。

平成 25 年度 岡山県放課後児童クラブ指導者研修会  
(兼 平成 25 年度岡山県放課後子どもプラン合同研修会)

開 催 要 項

1. 目 的 岡山県下の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室に関係する指導者等  
が一同に集まり、子どものかかわり方や遊び等についての具体的な知  
識・方法を学ぶとともに、各施設や領域を超えて交流を図る。
2. 日 時 平成 25 年 7 月 14 日 (日) 午前 10 時 00 分～午後 3 時 00 分
3. 会 場 岡山大学一般教育棟  
(〒700-8530 岡山市北区津島中 2 丁目 1 番 1 号)  
全体会：B棟 4 階 B 4 1 室  
分科会：C棟 2 階 C 2 1・2 2・2 4・2 5 室・3 階 C 3 1・3 2 室  
※受付はC棟の入口になります。
4. 内 容 以下の内容について全体会と分科会によって講義等を行う。

<全体会>

講演：放課後の子どもたちにかかわる指導者の『指導』とは？

講師：住野好久（岡山大学大学院教育学研究科・日本放課後児童指導員協会理事長）

<分科会>

I：子どもの健康と放課後の子どもたち（C 2 4 室）

講師：片山敬子（就実大学）／世話人：加藤香織（岡山市・指導員）

II：子どもの遊びと放課後の子どもたち（C 2 2 室）

講師：原 祐一（岡山大学）／世話人：河北大樹（倉敷市・指導員）

III：子どもの文化活動と放課後の子どもたち（C 2 1 室）

講師：松本達郎（手労研）／世話人：横山憲一（岡山市・指導員）

IV：計画とふり返りと放課後児童クラブ（C 3 1 室）

講師：住野好久（岡山大学）／世話人：藤原由加（岡山市・指導員）

V：子ども理解と放課後児童クラブ（C 3 2 室）

講師：中山芳一（岡山大学）／世話人：山本早苗（津山市・指導員）

VI：障害のある子どもと放課後児童クラブ（C 2 5 室）

講師：林 幹士（発達障がい研究者）／世話人：吉田弥生（岡山市・指導員）

5. スケジュール

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 9:30～10:00  | 受付                  |
| 10:00～10:10 | 開会                  |
| 10:10～11:50 | 全体会（講演）             |
| 11:50～12:00 | 諸連絡                 |
| 12:00～13:00 | 昼食・休憩               |
| 13:00～15:00 | 分科会（I～VIの中からいずれか一つ） |

## 6. 主催 岡山県・岡山県教育委員会

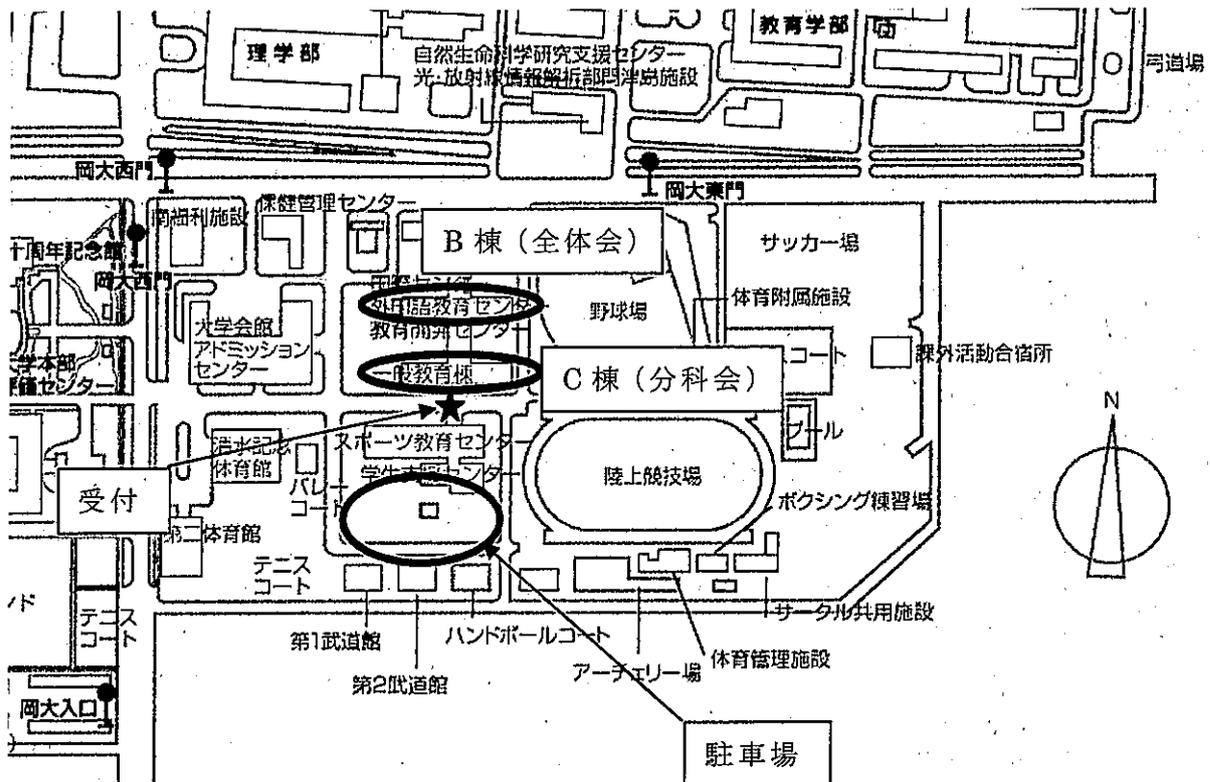
※昼食の斡旋は行いません。各自でご用意ください。(施設内の食堂・売店は閉店しています) ※食事は研修会場でとる事ができます。出たゴミは各自で持ち帰ってください。

## 7. 主催 岡山県・岡山県教育委員会・岡山県学童保育連絡協議会

## 8. その他

- (1) 当研修は、放課後子どもプラン推進事業の一環として、放課後子ども教室指導者研修会と合同で実施します。
- (2) 分科会については、参加希望者多数の場合、受講者を事前に調整する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- (3) 分科会VIは障害児指導員向けの内容を含んでいますので、岡山県放課後児童クラブ障害児サポート事業における障害児専任指導員については、分科会VIを必ず受講してください。
- (4) 大学内駐車場は有料(1時間以上一律500円)となります。駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用や自家用車での乗り合わせにてご協力をお願いいたします。また、近隣のお店等の駐車場へ無断駐車をしないようにしてください。
- (5) 参加申込みは、必ず市町村担当課で取りまとめのうえ申し込んでください。放課後児童クラブから直接申し込みは受け付けませんので、ご注意ください。

## 9. 会場アクセス



こ 第 5 6 0 号

平成26年5月13日

県内市町放課後対策事業主管課長 様

佐賀県くらし環境本部こども未来課長  
( 公 印 省 略 )

平成26年度佐賀県放課後子どもプラン研修会の開催について

佐賀県では、放課後等における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、例年、放課後子ども教室及び放課後児童クラブ関係者を対象とした資質向上のための研修会を開催しています。

つきましては、平成26年度の研修会を別紙日程表のとおり開催しますので、放課後対策事業関係者に周知していただきますとともに、積極的な参加についてご配慮いただきますようお願いいたします。

記

1 開催日程等

別紙日程表のとおり

2 対象者

コーディネーター、安全管理員、放課後児童クラブ指導員、行政担当者などの放課後対策事業の関係者

3 申込方法

メール又はFAXにて、各開催日の5日前までにお申し込みください。(ただし、定員になり次第締め切ります)

申込先 : NPO 法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会

FAX : 0952-37-8553、(Tel : 0952-37-8553)

メール : planhoukago@gmail.com 中島・小川

担当	少子化対策担当	森岡貴之
電話	0952-25-7381	
FAX	0952-25-7339	
Mail	morioka-takayuki@pref.saga.lg.jp	
	kodomomirai@pref.saga.lg.jp	



## 平成26年度佐賀県放課後子どもプラン研修会①

(安全管理員・放課後子ども教室関係者・放課後児童クラブ指導員等編・鳥栖会場)

◇目的 放課後対策事業（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）関係者の資質の向上を図り、関係者間で情報交換・情報共有を行うことにより、県内の放課後対策事業を推進し、児童の健全育成を図る。

### ◇内容

日程 平成26年6月9日（月）

会場 鳥栖商工センター会館 2F 大会議室

鳥栖市藤木町若桜2番1（Tel：0942-85-0727）

対象者 安全管理員、放課後子ども教室関係者、放課後児童クラブ指導員 等

定員 70名

9：15～	受付
9：30 ～9：40	開会 あいさつ
9：40 ～11：40	【講演】 「放課後児童の現状と課題」～指導員の役割～  講師 岡山市福田にこにこクラブ指導員 藤田 まり 氏

## 平成26年度佐賀県放課後子どもプラン研修会②

(安全管理員・放課後子ども教室関係者・放課後児童クラブ指導員等編・小城会場)

◇目的 放課後対策事業（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）関係者の資質の向上を図り、関係者間で情報交換・情報共有を行うことにより、県内の放課後対策事業を推進し、児童の健全育成を図る。

### ◇内容

日程 平成26年6月10日（火）

会場 小城保健福祉センター「桜楽館」 多目的ホール  
小城市小城町畑田 750 番地 (Tel: 0952-73-7117)

対象者 安全管理員、放課後子ども教室関係者、放課後児童クラブ指導員 等

定員 80名

9:15 ~	受付
9:30 ~9:40	開会 あいさつ
9:40 ~11:40	【講演】 「放課後児童の現状と課題」～指導員の役割～  講師 岡山市福田にここクラブ指導員 藤田 まり 氏

### 平成26年度佐賀県放課後子どもプラン研修会③

(安全管理員・放課後子ども教室関係者・放課後児童クラブ指導員等編・鹿島会場)

◇目的 放課後対策事業（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）関係者の資質の向上を図り、関係者間で情報交換・情報共有を行うことにより、県内の放課後対策事業を推進し、児童の健全育成を図る。

#### ◇内容

日程 平成26年6月11日（水）

会場 鹿島市民会館 3F 大会議室

鹿島市大字納富分 2643-1（Tel：0954-62-3131）

対象者 安全管理員、放課後子ども教室関係者、放課後児童クラブ指導員 等

定員 80名

9：15～	受付
9：30 ～9：40	開会 あいさつ
9：40 ～11：40	【講演】 「放課後児童の現状と課題」～指導員の役割～  講師 岡山市福田にこにこクラブ指導員 藤田 まり 氏

## 平成26年度佐賀県放課後子どもプラン研修会④

(安全管理員・放課後子ども教室関係者・放課後児童クラブ指導員等編・伊万里会場)

◇目的 放課後対策事業（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）関係者の資質の向上を図り、関係者間で情報交換・情報共有を行うことにより、県内の放課後対策事業を推進し、児童の健全育成を図る。

### ◇内容

日程 平成26年6月12日（木）

会場 立花公民館 講堂

伊万里市立花町 1891-79 (Tel: 0955-20-4567)

対象者 安全管理員、放課後子ども教室関係者、放課後児童クラブ指導員 等

定員 80名

9:15 ~	受付
9:30 ~ 9:40	開会 あいさつ
9:40 ~ 11:40	【講演】 「放課後児童の現状と課題」～指導員の役割～  講師 岡山市福田にこにこクラブ指導員 藤田 まり 氏

平成26年度佐賀県放課後子どもプラン研修会⑤

(安全管理員・放課後子ども教室関係者・放課後児童クラブ指導員等編・みやき会場)

◇目的 放課後対策事業（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）関係者の資質の向上を図り、関係者間で情報交換・情報共有を行うことにより、県内の放課後対策事業を推進し、児童の健全育成を図る。

◇内容

日程 平成26年6月15日（日）

会場 みやき町ひまわり児童クラブ（中原小学校敷地内 児童クラブ）  
三養基郡みやき町原古賀 1364-2

対象者 安全管理員、放課後子ども教室関係者、放課後児童クラブ指導員 等

定員 80名

9:15~	受付
9:30 ~9:40	開会 あいさつ
9:40 ~11:40	【講演】  「今問われている、こどもの育ちに大切なこと・・・」  講師 PLAY FUKUOKA 代表 古賀 彩子 氏
11:40 ~13:00	昼食
13:00 ~14:30	【講演&ワークショップ】  「あそび場のリスクマネージメント（危機管理）とは」  講師 PLAY FUKUOKA 代表 古賀 彩子 氏
14:50 ~15:40	【ワークショップ】  「いざという時のために」  講師 PLAY FUKUOKA 代表 古賀 彩子 氏
15:40 ~16:00	まとめ 閉会

## 平成26年度佐賀県放課後子どもプラン研修会◎

(安全管理員・放課後子ども教室関係者・放課後児童クラブ指導員等編・唐津会場)

◇目的 放課後対策事業（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）関係者の資質の向上を図り、関係者間で情報交換・情報共有を行うことにより、県内の放課後対策事業を推進し、児童の健全育成を図る。

### ◇内容

日程 平成26年6月30日（月）

会場 高齢者ふれあい会館「りふれ」 2F 研修室1

唐津市ニタ子3丁目155番地4（Tel：0955-72-9611）

対象者 安全管理員、放課後子ども教室関係者、放課後児童クラブ指導員 等

定員 80名

9：15～	受付
9：30 ～9：40	開会 あいさつ
9：40 ～11：40	【講演】 「七つの教育、三つの支援」 講師 NPO法人 大分特別支援教育室フリーリー 副理事長 大内 博文 氏

## 平成26年度佐賀県放課後子どもプラン研修会⑦

(安全管理員・放課後子ども教室関係者・放課後児童クラブ指導員等編・神埼会場)

◇目的 放課後対策事業（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）関係者の資質の向上を図り、関係者間で情報交換・情報共有を行うことにより、県内の放課後対策事業を推進し、児童の健全育成を図る。

### ◇内容

日程 平成26年7月1日（火）

会場 神崎市役所千代田庁舎 2F 2-2

神崎市千代田町直島 166 番地 1 (Tel: 0952-44-2111)

対象者 安全管理員、放課後子ども教室関係者、放課後児童クラブ指導員 等

定員 80名

9:15 ~	受付
9:30 ~ 9:40	開会 あいさつ
9:40 ~ 11:40	【講演】 「七つの教育、三つの支援」 講師 NPO法人 大分特別支援教育室フリーリー 副理事長 大内 博文 氏

平成26年度佐賀県放課後子どもプラン研修会⑧  
(コーディネーター・放課後子どもプラン関係者等編・嬉野会場)

◇目的 放課後対策事業（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）関係者の資質の向上を図り、関係者間で情報交換・情報共有を行うことにより、県内の放課後対策事業を推進し、児童の健全育成を図る。

◇内容

日程 平成26年10月27日（月）

会場 嬉野市（場所未定）

対象者 コーディネーター、行政担当者、安全管理員、放課後子ども教室関係者、  
放課後児童クラブ指導員 等

定員 （未定）

9:15 ~	受付
9:30 ~ 9:40	開会 あいさつ
9:40 ~ 11:40	【講演】 「放課後児童健全育成事業とまちづくり」  講師 NPO法人 ハンスオン埼玉 西川 正 氏

平成26年度佐賀県放課後子どもプラン研修会⑨  
(コーディネーター・放課後子どもプラン関係者等編・佐賀会場)

◇目的 放課後対策事業（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）関係者の資質の向上を図り、関係者間で情報交換・情報共有を行うことにより、県内の放課後対策事業を推進し、児童の健全育成を図る。

◇内容

日程 平成26年11月6日（木）

会場 アバンセ 4F 第2研修室

佐賀市天神三丁目2-11（Tel：0952-26-0011）

対象者 コーディネーター、行政担当者、安全管理員、放課後子ども教室関係者、  
放課後児童クラブ指導員 等

定員 80名

9：15～	受付
9：30～ ～9：40	開会 あいさつ
9：40 ～11：40	【講演】 「放課後子どもプランコーディネーター実践と交流」  講師 NPO法人 佐賀県放課後児童クラブ連絡会 理事長 石橋 裕子

